

報告第5号

令和5年度株式会社おおや振興公社の経営状況について

令和5年度の株式会社おおや振興公社の経営状況は、別冊のとおりである。よって地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、報告する。

令和6年8月27日提出

養父市長 広瀬 栄

令和5年度

経 営 状 況 報 告

株式会社おおや振興公社

第 37 期事業報告書

自令和 5 年 4 月 1 日
至令和 6 年 3 月 31 日

1 総括

第 37 期のあゆ公園の営業は、4 月 21 日から開始しました。

4 月から 6 月までの売上は、不安定な天候の影響を受け、前年度比 84%となりました。しかし、夏季の繁忙期に入ると、天候が好転し、7 月の売上は前年度比で 122%に達しました。これは、夏休みを利用した家族連れや観光客の増加が大きく寄与しています。お盆期間中には台風がありましたが、8 月の売上も前年度比で 101%を維持しました。9 月には、秋晴れの良い天候もあって、前年度比で 138%まで売上が伸びました。

人口河川部門では、7 月と 8 月の繁忙期に多くの家族連れのお客様にご来場いただきました。また、BBQ エリアの予約システムをネット上で導入することで、利用者の予約手続きが簡単になり、より多くのお客様にご利用いただけるようになりました。

レストラン部門につきましては、第 37 期も(公社)養父市シルバー人材センターと業務委託契約を締結し、繁忙期だけの営業となりました。これにより、ピーク時の来場者への飲食サービスを提供することができました。

宿泊部門では、コテージでの新しいサービスとして、BBQ の食材をオプションで選べるサービスを開始しました。ファミリーやグループに好評で、宿泊の付加価値を高める結果となりました。

7 月には駐車場の増設工事が完了し、来場者の利便性が大幅に向上しました。公園の評価が高まるとともに、繁忙日でもスムーズな運営が可能になりました。

これらの取り組みにより、第 37 期の売上総合計は 54,699 千円(前年度 54,254 千円)となり、前年度比 445 千円の増加となりました。この成果は、施設の改善とサービスの質の向上によるものであり、今後もお客様に愛される施設を目指して、さらなる努力を続けてまいります。

部門別の売上の対前年度比較

(税抜き)(単位:円)

部門	第 37 期(令和 5 年度)	第 36 期(令和 4 年度)	増減	前年度比
人工河川	27,673,586	27,630,222	43,364	100%
レストラン・物産	0	12,004	△12,004	0%
宿泊	7,686,154	9,388,910	△1,702,756	82%
ラーメン事業	14,009,814	14,103,242	△93,428	99%
駐車場	2,210,006	=	2,210,006	—
その他	3,120,000	3,120,000	0	100%
総合計	54,699,560	54,254,378	445,182	101%

注)レストラン部門は、(公社)養父市シルバーに業務委託をしているため、売上はありません。

2 個別事業

(1) 人工河川

人工河川部門は、家族連れに特に人気のある施設として安定した売上を維持し、売上 27,673 千円(前年度比 100%)となりました。BBQ の売上は好調で前年度比 112%の増加を達成しました。24 時間受付可能なネット予約システムを導入したことが売上増加につながっています。

来場者の動向を把握するために実施したアンケートでは、60%が初めての訪問で、40%がリピーターであることが判明しました。あゆ公園をどのように知ったかに関する質問では、最も多い 35%がネット検索を通じて、次いで 14%が SNS を通じて知ったと回答しました。これは情報サイトや友人・知人からの紹介、その他の方法を含む多様なチャンネルを通じて新規およびリピートの来場者を獲得していることを示しています。

またファミリー層に影響力を持つインフルエンサーを活用したマーケティング戦略を展開し、あゆ公園の認知度と魅力を高めることに成功しました。さらに駐車場の増設により、7月から9月末までの繁忙期にあたる土日祝日やお盆期間に駐車料金を設定しました。この期間の利用台数は 2,690 台に達し、お客様からの好評を得て、利便性の向上と運営の円滑化を実現することができました。

(2) レストラン

業務委託契約を結んでいるレストランは、営業日数 25 日間、入込数 1,987 人(前年度比 96%)でした。繁忙期に(公社)養父市シルバー人材センターの協力を得て営業を行いました。今後も協働関係を深め、双方にとってより良い運営を目指します。

(3) 宿泊(ペンション・コテージ)

ペンションは、夏休みの合宿のみ営業をしましたが、漏水と浴場設備の不具合が続いたため、現在は営業を停止しております。市との協議の結果、経費削減のために水道とガスを停止し、令和 6 年 6 月末には電気の供給も停止する予定です。コテージは、売上 7,686 千円(前年度比 82%)となりました。お客様がご予約時に、BBQ の食材をオプションで選べる新サービスを開始しました。また、市との修繕計画に基づき、老朽化していたサッシの修繕を行いました。

(4) 全体施策

- ① デジタルマーケティングの強化として WEB や SNS を活用、ターゲットとなる観光客の興味を引くコンテンツを作成し、情報拡散を促進しました。
- ② 施設環境の改善として施設全体の環境美化を定期的に行い、快適な空間を提供しました。また立木の伐採・剪定、草刈り、清掃美化を通じて、安全かつ清潔な公園環境を維持しました。
- ③ 地域の事業者や団体と協力し、共同で宣伝活動を行いました。

(5) その他事業

①地域支援事業

令和2年12月から始めた「とがやま温泉天女の湯」内でのラーメン事業(麵屋あき助)の運営は、人手不足等により令和6年3月17日で終了いたしました。

3 設備等の投資と修繕

(税抜き)(単位:千円)

部門	区分	内容	投資	修繕
川の家	川の家	駐車場土地代(3名義分)	2,718	
		駐車場整備費用(土地整備)	8,000	
		駐車場整備費用(区画整備)	346	
	公園整備	公園内樹木剪定		104
宿泊	コテージ	エアコン交換		193
	ペンション裴翠	漏水修理		241
合 計			11,064	538
総 合 計			11,602	

注)10万以上の投資経費と修繕費を計上

決 算 報 告 書

第 37 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

株式会社 おおや振興公社

兵庫県養父市大屋町加保 5 8 2

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 おおや振興公社

令和 6年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 42,461,614】	【流動負債】	【 2,914,176】
現金及び預金	41,933,201	買掛金	21,983
売掛金	67,200	未払金	1,170,586
商 品	71,244	未払人件費	513,818
貯 蔵 品	379,044	未払消費税等	998,700
立 替 金	6,361	預 り 金	24,089
未 収 入 金	4,564	未払法人税等	185,000
【固定資産】	【 13,921,840】	負債の部計	2,914,176
(有形固定資産)	(13,651,070)	純資産の部	
建物付属設備	978,689	【株主資本】	【 53,469,278】
構 築 物	8,431,664	[資 本 金]	[57,000,000]
車 両 運 搬 具	309,394	[利 益 剰 余 金]	[Δ3,530,722]
工 具 器 具 備 品	904,154	(その他利益剰余金)	(Δ3,530,722)
土 地	2,723,607	繰越利益剰余金	Δ3,530,722
一括償却資産	303,562	(うち当期純利益)	(779,938)
(無形固定資産)	(105,760)	純資産の部計	53,469,278
電話加入権	105,760	負債・純資産の部計	56,383,454
(投資その他の資産)	(165,010)		
出 資 金	30,000		
保 証 金	114,000		
預 託 金	21,010		
資産の部計	56,383,454		

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 おおや振興公社

至 令和 6年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	51,579,560	
受 託 収 入	3,120,000	54,699,560
【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	276,470	
仕 入 高	13,709,778	
合 計	13,986,248	
期末商品棚卸高	71,244	13,915,004
売 上 総 利 益		40,784,556
【販売費及び一般管理費】		40,262,570
営 業 利 益		521,986
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	100	
受 取 配 当 金	1,200	
出 向 給 与 負 担 金	96,014	
雑 収 入	428,336	525,650
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	82,698	82,698
経 常 利 益		964,938
税引前当期純利益		964,938
法人税住民税事業税額		185,000
当 期 純 利 益		779,938

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 おおや振興公社

至 令和 6年 3月31日

科 目	金 額
役員報酬	1,750,000
給料手当	4,988,439
法定福利費	1,294,333
福利厚生費	227,738
賞与	1,340,000
賃金	7,678,895
出向者給与	3,776,905
外注費	5,441,789
広告宣伝費	246,774
運賃	5,950
支払手数料	1,896,566
寄付金	26,000
諸会費	126,000
接待交際費	3,980
旅費・交通費	137,509
通信費	390,259
事務消耗品費	99,396
消耗品費	2,196,822
租税公課	334,777
減価償却費	1,873,676
修繕費	638,782
水道光熱費	3,022,011
保険料	263,857
装備衛生費	691,728
リース料	629,960
会議費	1,464
燃料費	253,211
賃借料	327,276
支払報酬	418,473
雑費	180,000
合 計	40,262,570

株主資本等変動計算書

株式会社 おおや振興公社

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

	株 主 資 本						自己株式	株主資本計 合	評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		そ の 他 資 本 剰 余 金					
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金						
当期首残高	57,000,000				△4,310,660		52,689,340			52,689,340	
当期変動額											
当期純利益					779,938		779,938			779,938	
当期変動額合計					779,938		779,938			779,938	
当期末残高	57,000,000				△3,530,722		53,469,278			53,469,278	

	利益剰余金の内訳	
	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	△4,310,660	△4,310,660
当期変動額		
当期純利益	779,938	779,938
当期変動額合計	779,938	779,938
当期末残高	△3,530,722	△3,530,722

個別注記表

株式会社 おおや振興公社

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券……総平均法による原価法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・仕掛品・製品……最終仕入原価法による原価法

商品・貯蔵品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

税法に規定する償却期間で償却している。

引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるために、過去の貸倒実績率による繰入率によるほか、債権の内容を検討して計上している。

消費税の会計処理

税抜方式で計上している。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上している。

中小企業会計に関する基本要領

2. 貸借対照表に関する注記

資産に係る減価償却累計額を直接控除した額 11,129,945 円

保証債務、手形遡求債務、重要な係争事件に係る損害賠償義務その他債務の注記

受取手形割引高 0 円

受取手形裏書譲渡高 0 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 1140株

当事業年度末日における自己株式の数 0株

当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

剰余金の配当のうち、剰余金の配当を受ける者を定めるための法第124条第1項に規定する基準日が当事業年度中のものを含む。)

第35期事業年度の定時株主総会

配当に関する事項

配当財産が金銭の場合

金銭配当の株式の種類別内訳

配当金の総額

1株当たり配当額 0円

基準日

令和 5年 3月31日

4. 1株当たり情報に関する注記

純資産額 46,902円87銭

当期純利益 684円15銭